

青森市北国型集合住宅国際設計コンペ

Northern Style Housing Complex in Aomori -International Design Competition-

2001

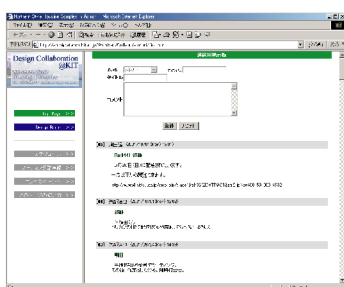
2001年8月から9月末にかけて青森市北国型集合住宅国際設計コンペに取り組みました。本学非常勤講師の矢部達也氏を筆頭に大学院生、学部生混合のチームを組み、オンラインによるコミュニケーションツールと週一度のミーティングを通じて設計を行いました。このプロジェクトで使用したコミュニケーションツールは、DCW2001のシステムを改良(シンプルに使いやすく)したもので、アップロードされた画像ファイルのサムネイル画像が自動作成される機能やアップロードファイル検索・一覧機能などを付加しました。

Subject

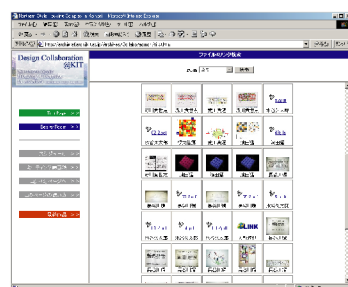
「まちなか居住の新しい形」を大きなテーマとして、まちなか居住の利便性・快適性・楽しさを最大限に享受できる空間の提案と、そこに育まれる新たな暮らし方のイメージの提案が求められました。青森市は、市街地の外延化を押しとどめコンパクトなまちづくりを目指しており、中心市街地を核とする雪に強い効率的なまちづくりを進めるための政策推進に取り組んでいます。具体的な取り組みのひとつとして、冬を快適に暮らすための環境づくりや、雪のない生活空間づくりを視野に入れた「北国型集合住宅」をまちの中心部に建設したいと考えており、もう一度まちに賑わいと活気を取り戻すために、21世紀を迎えての新しい視点に立った機能性・独創性に富んだ「北国型集合住宅」のアイデア・デザインの提案を、日本国内だけに止まることなく、広く世界へも求めたものでした。

Project Page & Communication Tool

青森コンペプロジェクトには、2つの特徴があります。Web上のコミュニケーションツールを利用した遠隔地間でのコラボレーションとフェイスツーフェイスコラボレーションの併用がその1つです。またもう一つの特徴として、プロの建築家から学部生に至る世代を越えたコラボレーションでもありました。そのため、プロジェクトページ、チームページはシンプルなインターフェースで使いやすいものとなりました。一方で、「自動サムネイル機能」、「ファイル検索機能」など新たな機能の充実も図っています。



プロジェクトページ



連絡用掲示板



ミーティング風景